

アドバイスや他園の良い取組を参考に・・・

こんなことを取り組んでみました！ ～経過報告～

園の「悩み・課題」

今までは・・・

遊びや生活様々な活動・場面において配慮すべきことです。今一度、各クラスの課題を考え、改善していく。

目標やゴール

これからは、こうしたい！

保育の質の向上

◇「保育園つながりプロジェクト」を通じ、保育園の垣根を越えて、悩みや皆さんの園で培ってきた貴重な経験(アドバイス)を知ることができました。

皆さんのアドバイスを参考に、こんなことを取り組んでみました！

◇私たちの園が、参考にしたアドバイスは、こちらです！

助言No

46

子どもの発言を拾い、遊びや活動につなげている。

取組
テーマ

子どもの主体性・自主性を育む

(1) 概要・工夫したこと

◎各クラスごとに取り組んでいること、新たに取り組んでみたことを報告してもらった。

活動：遊びや行事の取り組み等、子ども達との話し合いを充実させたり、声を拾うことを心掛けた。

例) 遊び：コーナー遊びを充実。子どものリクエストに応じておもちゃを出したり自由に使えるもの等の環境を整えた。外遊び、室内あそびを限定せず子どもが自由に選べるようにした。

行事：幼児組では、行事内容を説明し、どんなことをしたいか子ども達から積極的に意見を出してもらえるような話し合いの場を多く設けるようにした。

食事：年齢ごとに配膳の工夫を行い、一人ひとりの食べたい量を食べられるようにした。

(2) 良かった点・改善点

よかった点

子どもの意見を保育士が取り入れることに重点を置くことで、活動や遊びの充実が図ることができた。

子ども達も自分の意見や考えた取り組みなので、活動の中でも意欲的に楽しめるようになった。意見を言ったり友達のことを聞くことで、自分の思いを伝えるようになった。

食事は、個別の配膳を行うことで、食べる意欲につながり、小食だった子どももよく食べるようになり、食べ残し等が減った。

改善点

日々の各クラスの保育をテーマ等決めて、会議等で報告する機会を作るようにしたい。取り組みを知ることで保育の向上を図るようにしたい。



年長児クラスでは給食当番が配膳を行っている。

個別に自分の食べたい量を配膳してもらうことで、苦手な物でも少しだけ配膳してもらうことで

食べる意欲につながっている。

これからの意気込み
他園へのメッセージ

子どもの主体性・自主性を育む保育を園全体で取り組んでいく。会議等で報告し合い、様々な活動や環境設定など連携を取りながら、一人ひとりの保育の質の向上にもつながるようにしていきたい。

アドバイスや他園の良い取組を参考に・・・

こんなことを取り組んでみました！ ～経過報告～

園の「悩み・課題」

今までは・・・

雨の日や戸外遊びに適さない日が続いた時に、室内遊びがマンネリ化してしまうので、レパートリーを増やしたい。



目標やゴール

これからは、こうしたい!

保育士も子ども達と一緒に楽しみながら、室内での遊びを工夫したり発展させたりしたい。

◇「保育園つながりプロジェクト」を通じ、保育園の垣根を越えて、悩みや皆さんの園で培ってきた貴重な経験(アドバイス)を知ることができました。

皆さんのアドバイスを参考に、こんなことを取り組んでみました!

◇私たちの園が、参考にしたアドバイスは、こちらです!

助言No

008

他の異年齢のクラスと合同にし、手先を使う遊びと、体を使う遊びのコーナーを作り、その子に合わせた活動ができるようにする。

取組テーマ

乳児組における室内の活動や遊びの工夫

(1) 概要・工夫したこと

ねらい

一人ひとりの意見やアイデアを保育に取り入れ、実践できるように会議を実施

会議の概要

- ・開催 2月20日13時～14時
- ・対象者 乳児組の担任
- ・室内で楽しめる遊びを各自報告

工夫したこと

報告内容を傾聴し、できることから始められるようにしました。

(2) 良かった点・改善点

よかった点

事前に一人ひとりが考慮する期間を作り、今までの経験や情報収集等をしてから報告したため、たくさんのアイデアが出ました。

改善点

まだ、実施していない遊びもあるので、計画的に準備し、実践していきたいです。



ちぎったお花紙をペットボトルに入れジュースごっこを楽しみました

これからの意気込み
・
他園へのメッセージ

乳児組は、室内で過ごす時間が幼児組よりも多いので、今後も遊びの工夫や発展を行い、楽しみながら子ども達の心身の成長を促していきたいです。おすすめの遊びをもっと知りたいので、情報交換ができるよう他園との交流を深めたいです。

アドバイスや他園の良い取組を参考に・・・

こんなことを取り組んでみました！ ～経過報告～

園の「悩み・課題」

今までは・・・

保護者等に散歩のルートの説明する際に、事務所のお散歩マップを見ながらの説明になっていた。



目標やゴール

これからは、こうしたい!

各保育室等に掲示することで、すぐに歩いていくルートを確認することができる。

◇「保育園つながりプロジェクト」を通じ、保育園の垣根を越えて、悩みや皆さんの園で培ってきた貴重な経験(アドバイス)を知ることができました。

皆さんのアドバイスを参考に、こんなことを取り組んでみました!

◇私たちの園が、参考にしたアドバイスは、こちらです!

助言No

025

お散歩中の安全対策として、防災マップ(お散歩マップ)を作成し、お散歩ルートとして安全な道を通るように決めています。

また、マップとして園内に貼りだすことで、保護者への周知も兼ねています。

防犯、防災委員の保育士数名を中心に毎月の避難訓練に加え、不審者対策訓練・消防署・警察署の方を招いての講習などを行っています。

取組テーマ

散歩コースの見直し及び保護者への情報発信

(1) 概要・工夫したこと

(ねらい)

- ・散歩に適している園周辺の公園や安全な散歩ルートを確認し、職員の共通認識のもと危機管理を高める。
- ・散歩場所への情報を発信し、保護者との共通理解や地域の情報を共有する。

(概要)

- ・各クラス担任が代表にて乳幼児の散歩ルート及び場所の確認
- ・公園リスクマップ及び保護者向けおさんぽマップの作成(工夫したこと)
- ・散歩ルートと合わせて非常時の避難経路が確認できるようにした。
- ・散歩時に遅れて登園する園児や連絡ノート、日報では分かりにくい公園の情報を写真を使い、視覚的に取り込んだ。(全体図、縮小図を用いて掲示)

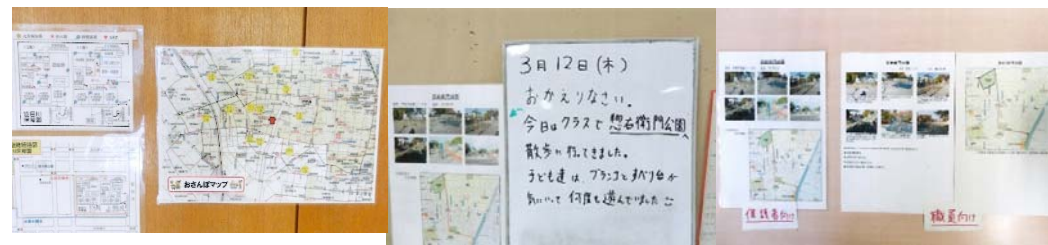
(2) 良かった点・改善点

よかった点

- ・職員全体で安全な散歩ルートを確認、共有したことで災害時の避難時(訓練)にもスムーズな移動ができた。
- ・公園の遊具写真やルートがわかりやすく、保護者の周知及び情報の提供として役立っている。

改善点

- ・その都度公園や散歩ルートの見直しや情報を上書きしながら、最善な散歩ルートや場所を確保していく。



これからの意気込み
・
他園へのメッセージ

クラスに掲示したことで保護者と共有し、戸外遊びを充実していきたい。

アドバイスや他園の良い取組を参考に・・・
こんなことを取り組んでみました! ~経過報告~

園の「悩み・課題」
今までは・・・

- ・情報提供や安全配慮事項の確認はしてきた。しかし、散歩コースの見直しや危険個所の確認までには至っていない。

目標やゴール
これからは、こうしたい!

- ・散歩マップを作成し、見直す。
- ・危険個所を確認し、共有する。



◇「保育園つながりプロジェクト」を通じ、保育園の垣根を越えて、悩みや皆さんの園で培ってきた貴重な経験(アドバイス)を知ることができました。
皆さんのアドバイスを参考に、こんなことを取り組んでみました!

◇私たちの園が、参考にしたアドバイスは、こちらです!

助言No
030

お散歩中の安全対策として、防災マップ(お散歩マップ)を作成し、お散歩ルートとして安全な道を通るように決めています。
また、マップとして園内に貼りだすことで、保護者への周知も兼ねています。
防犯、防災委員の保育士数名を中心に毎月の避難訓練に加え、不審者対策訓練・消防署・警察署の方を招いての講習などを行っています。

取組テーマ **お散歩コースの見直し(安全面など)**

(1) 概要・工夫したこと

①ねらい
日頃の散歩コースを見直し、実践することで、園児を事故の危険から守ると共に保育士の安全への意識の醸成を図る。

②作成までの取り組み
各クラスごとに通っている散歩コースを全て報告し、園として利用しているコースの問題点を洗い出し、どんな点に気を付けたいのかを加えて視覚的に1枚にまとめる。

③共通理解・修正
職員会議でできあがったお散歩マップを見直し修正をする。

④安全の意識の啓発
できあがったお散歩マップを園内に掲示し、保護者にも安全への意識の啓発を図った。

(2) 良かった点・改善点

よかった点
・保育士の安全への意識が高まり、園児へと伝播した。

改善点
・危険個所は短時間のうちに変わっていくので、改めるスパンを決めておけばよかった。



これからの意気込み
他園へのメッセージ

安全であることは何よりも最優先される事柄であることを肝に銘じ、実行していきます。参考になる点
がもしありましたら教えて下さい。

アドバイスや他園の良い取組を参考に・・・

こんなことを取組んでみました！～経過報告～

園の「悩み・課題」

今までは・・・

遊びに発展が無く同じ遊び方をしていた。静と動の遊びを分けていても同じ空間の中で仕切っていた。静の遊びに集中できていなかった。指示のような声掛けをして片付けや次の活動に移っていた。0歳児クラスの高月齢と低月齢が同じ空間で遊んでいた。低月齢児に合わせた活動内容にするが高月齢児が物足りなさそうだった。活動時間帯は低月齢児が午前寝に入ってしまう為活動に参加できない日もあった。



目標やゴール

これからは、こうしたい！

部屋ごとに静と動の空間を分け玩具や環境を設定し、自由に部屋を行き来できるようにしたい。子ども達が自由に遊び、遊びを広げられるようにしていきたい。子ども達が自分で考えられるような声掛けをし、次の活動に移れるようにしたい。0歳児クラスの高月齢児は、活動に合わせて1歳児クラスに合流し満足に遊べるようにしていきたい。低月齢児は無理のない程度に活動を楽しめる生活リズムを作っていきたい。

◇「保育園つながりプロジェクト」を通じ、保育園の垣根を越えて、悩みや皆さんの園で培ってきた貴重な経験(アドバイス)を知ることができました。

皆さんのアドバイスを参考に、こんなことを取組んでみました！

◇私たちの園が、参考にしたアドバイスは、こちらです！

助言No

112

いつでも一人ひとりの遊びや生活のペースを尊重してあげたいということは、我々の職業的信念ですね。ただ、子ども自身が「ここだけは譲れない」「これはやりとおしたい」というその時に、応えきれないジレンマ・・・わかります。その際、2つのことが考えられるのではないのでしょうか。1つ目は、そのルールは(実は)大人の都合になっていないかということ。「全員で揃ってから〇〇をする必要はあるのかな?」「それぞれがキリのいいところまでどうぞ、が保障できているのかな?」などと今の園内のルールを見直してみることで、ルールを変えるには、保育者同士の連携が必須になってきます。2つ目は、日々の遊びの中でじっくりと子どもが取組める時間と機会をしっかりと持っているかということです。集中したり、じっくりやり切った達成感を持てると、子どもは自然と気持ち切り替わります。そのためにも、1つ目は子どもの自由度の尊重と園の状況とを勘案し、園内で話し合っていくことが必要だと思います。

これからの意気込み ・ 他園へのメッセージ

コーナーをしっかりと分けることで子どもたちの遊びの意欲が湧き、集中して遊びに取り組めるようになったと感じた。今後も異年齢児とも関わって遊べるような環境設定をさらに工夫して行っていく中で、子どもの年齢や発達に合わせたもの、遊びを発展させられるような素材を用意し、まだ遊びを展開させていくのが難しい乳児の遊びの幅を広げていくため、保育士も一緒になって遊びに参加し、子ども達の気付きや発見になるようなきっかけを作れるようにしていきたい。施設内の設備や、職員配置の問題などで難しい面もたくさんあるが、一人一人のペースをできるだけ尊重していけるよう職員同士で連携を取り、話し合いを重ね実践していきたい。これからも様々な方にアドバイスをいただきながら、より良い園づくりをしていきたいと思っておりますのでご指導よろしく申し上げます。

取組
テーマ

全体の活動と一人ひとりの遊びの尊重の工夫

(1) 概要・工夫したこと

静と動の空間を分けることで集中してパズルやお絵かきなどの好きな遊びに取り組み、ござマットの上で横になり落ち着いて過ごす姿が見られたり、部屋を仕切ることで動の環境として場所を広く使うことも出来るようになり、滑り台やマット遊びを楽しんだり子ども達がそれぞれのやりたいことを満足するまで思いっきり遊べるようになった。2歳児クラスでは活動の終わりの時間を知らせ、遊びを終えた子ども達が自らのタイミングで食事が出る環境を整えた。その際、一人ひとりにタイミングを見て「まだお腹すいてない?」などの声掛けをする工夫も行った。また、0歳児クラス内の月齢差が大きいため、0歳児クラスと1歳児クラスで連携を取り、活動に合わせて0歳児クラスの高月齢児が1歳児クラスの活動に参加できるようにし、体を十分に動かしたり、じっくりと集中して手先を使う遊びなどにも取り組めるようになった。

(2) 良かった点・改善点

よかった点

一人ひとりが自分が満足できるまで遊びに集中出来ることが増えた。

改善点

2歳児クラスの園児に終わりの時間だけを伝えていたが、食事に誘いかける時間をあらかじめ決めておいた方が良かったのではないかという意見が出た。戸外においてや、職員数が十分でない時間帯などに一人ひとりが達成感を持ち次の活動に移れるようにするための工夫や方法について引き続き検討して行きたい。



アドバイスや他園の良い取組を参考に・・・

こんなことを取り組んでみました！～経過報告～

園の「悩み・課題」

今までは・・・

苦手な食べ物が給食のメニューに出てくると、手が止まってしまったり食べられないこともありました。せっかくの楽しい給食も憂鬱になってしまうお友達もいました。



目標やゴール

これからは、こうしたい！

苦手な食べ物が出てきても、進んで食べられるようにしたいです。食べられた！という達成感を胸に、楽しい給食にしたいです。

◇「保育園つながりプロジェクト」を通じ、保育園の垣根を越えて、悩みや皆さんの園で培ってきた貴重な経験(アドバイス)を知ることができました。

皆さんのアドバイスを参考に、こんなことを取り組んでみました！

◇私たちの園が、参考にしたアドバイスは、こちらです！

助言No

073

調理師と連携をとり、その日の給食食材(野菜や果物等)に触れさせてもらう活動を行っている。見て触れて匂いをかぐことで興味を示し、楽しんでいる。

取組
テーマ

苦手な食べ物も楽しんで食べられるようにしたい！！

(1) 概要・工夫したこと

食育の時間を設けて食材に触れる時間を作りました。給食室の先生と一緒に実際に食材に触れたり、どんな野菜なのかお話をしました。実際に人参の皮むきをしたりカレー粉を入れて混ぜました。工夫した点は、保育園でなかなか触れる機会の少ない食材を調理し、集団で行うことで食べる楽しみや期待が膨らむように声かけをしました。

(2) 良かった点・改善点

よかった点

年齢が高いクラスで行ったため、包丁で実際に切ったり皮をむいたり高度な作業を行うことが出来ました。

改善点

他の学年のお友達はそれぞれ活動があり、参加できなかったですがお部屋にお邪魔したりお客さんとしてみるのもいい機会なのかなと感じました。



これからの意気込み
・
他園へのメッセージ

その日の給食は自分で作ったこともありたくさん食べてくれました。別の日に同じ食材が給食に出た時にも進んで食べる様子が見られました。今後も食育の時間を設けて身近に触れる機会を作っていきたいと思います。

アドバイスや他園の良い取組を参考に・・・

こんなことを取組んでみました！ ～経過報告～

園の「悩み・課題」

今までは・・・

散歩から園に帰るとき子どもがなかなか集まらない



目標やゴール

これからは、こうしたい！

子どもの「もっと遊びたい」を受容しつつ楽しく帰りたい

◇「保育園つながりプロジェクト」を通じ、保育園の垣根を越えて、悩みや皆さんの園で培ってきた貴重な経験(アドバイス)を知ることができました。

皆さんのアドバイスを参考に、こんなことを取組んでみました！

◇私たちの園が、参考にしたアドバイスは、こちらです！

助言No

097

・2歳児クラス、散歩から帰園する際の工夫について。

最後にかくれんぼをして、保育士が隠れ、そこに子どもたちが集まるようにして、集まったら、給食の話などをして帰ってからの楽しいことを伝える。子ども、職員の人数に寄りますが、ある程度集まったら、先頭は歩き始めるなどの工夫をしています。他の園の皆様もたくさん工夫をされていると思うので、私たちが教えていただきたいです。

取組
テーマ

子どもも保育士も笑顔で園に帰る

(1) 概要・工夫したこと

- ・2歳児クラスではお散歩ロープを使用しています。園児の持ち手に個別のマークを貼り、持ち手を今までの「自由なところ」から「決まった場所」に変更。
- ・自分の場所が決まったことで集まりやすくなり、同じ場所を持ちたくなった・・・等のトラブルも解消。
- ・アドバイスを参考に集まった子どもたちから少しずつ出発する様子を見せると集まりが悪かった子どもも自然と集まるようになった。

工夫したこと

広い場所に散歩に行った際は、保育士が「散歩ロープどこに置いたっけ？」と声かけ。

子どもたちは真っ先にロープの場所に走って行く。

時々取普段とは違う声かけをして楽しく集まるようにしている。

(2) 良かった点・改善点

よかった点

子どもがスムーズに集まれる事で保育士が余裕を持って支度できる。
また子ども達も楽しかった気持ちのまま帰園できる。

改善点

悪い点が見当たらないくらい毎回順調に帰れるように大変身！

これからの意気込み
他園へのメッセージ

これからも楽しく安全に散歩に行けるように考えていきたい。

取り組みテーマ以外でも他園のアドバイスが大変参考になった。